

先進的脱炭素都市・東京 目指す



「脱炭素や物価高に対する短期的な視点で世界で一番の都市・東京を目指す長期的な視点、それだけでどのように中小企業を支援していますか。」
「都内企業のうち99%を占める中小企業は東京の原動力。その原動力を失わないよう持続的に成長を支援してきた。関税の影響に対しては、ただちに特別相談窓口を設置し、資金繰りや経営支援を行うなど迅速に対応している。物価の高騰に対しては適正な価格交渉や買上げを後押し。スタートアップのAI（人工知能）技術を活用してコスト把握などを支援する事業のほか、価格設定を助言するサポーターによる支援も2025年度から始めた。」
「人手不足問題も大変深刻。解決のため就職マッチングを強化する。さらにデジタル変革（DX）を推進するほか、ファンドへの出資を通じて、人手不足問題の解決に資する技術やサービスを有するベンチャー企業を支援している。また後継者の不在は喫緊の課題だ。25年に設立した『TOKYO白鳥の騎士ファンド』による支援のほか、後継候補者と後継者不在企業をマッチングしている。成長分野と言われる航空宇宙産業への参入も支援している。費用が高いロケットや衛星などの機器開発を最大1億円助成する。中小企業を支えて東京の

グリーン水素力強く推進

米国からの関税の影響や物価高など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい。地震や大雨など、都民の生活を脅かす災害の発生も続いている。中小企業支援や災害対策、また都が先進的に進める脱炭素化への取り組みについて、小池百合子東京都知事に話を聞いた。

インタビュー

東京都知事

小池 百合子氏

「世界が激動する今こそ、グリーン水素のチャンス。『SusHi Tech Tokyo』は30を超える国や地域から600社以上のスタートアップが出展し、1000の国や地域から約5万7000人が参加した。そして、わずか3回目の開催でアジアを代表するイノベーションカンファレンスの地位を確立。またスタートアップの支援拠点である有楽町の『Tokyo Innovation Base（TIB）』では国内外のさまざまなプレーヤーが連日イベントを実施しており、23年の開催から計25万人以上が来場。TIBを核としてスタートアップエコシステムの拡大を目指す。さらに25年度から、グロース期のスタートアップの人材・資金・海外展開などを官民連携で支援する『SusHi Tech Global（ステックグローバル）』を始める。世界で活躍するスタートアップを東京から生み出していく。」
「地震や大雨など災害が続いていますが、都ではどのような災害対策に取り組んでいますか。」
「都の災害対策は全国をリードするもので、上下水道施設の耐震化、無電柱化、木密地域の不燃化などを進めている。首都直下地震などの被害想定は、建物被害や死者数が10年前の想定と比べ約3〜4割減少している。一方で、引き続き備えていくことが重要。1400万人の都民のうち900万人が共同住宅で暮らしており、災害時にもそのまま生活を続けられるよう『東京とどまるマンション』を推進している。これまでに約9万7000戸の登録があった。エレベーターでの閉じ込め防止対策など支援を拡充し、在宅避難を促進する。」
「風水害対策も極めて重要。約268万立方分の調節池が稼働しており、多くの



中小企業支援・災害対策を拡充

洪水被害を防いできた。例えば93年の台風では約3000戸の浸水被害が生じたが、23年の同規模の台風では神田川・環状7号線地下調節池の下流の浸水はゼロだった。35年度までに調節池を約365万立方メートルまで拡大し、さらに東京湾までつながる地下河川の事業化を推進する。富士山の噴火に対しては、AIを用いた動画により被害の想定や対策を発信するほか、水道施設の防災対策や、物流を継続できる体制構築などを進めている。都民が安心して暮らせるよう『備えよ、常に』の精神で都市の強靱化を実現していく。」
「都は50年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）の実現に向け、積極的に水素を利用しています。」
「脱炭素の切り札はグリーン水素。社会実装を力強く推進している。例えば世界で初めてのトライアル取引を実施。販売・購入価格をそれぞれ入札し、価格差を都が支援している。また都内初の大規模なグリーン水素の製造を25年内に開始する。9月には水素を使うアクションを官民連携で加速する『TOKYO H2』を始めた。プロジェクトの一環として30年度までに約600台の燃料電池（FC）タクシーを導入する。このような大規模な導入は全国初。水素の利用を見える化することで社会全体の理解と関心を高め、世界のモデルとなる脱炭素都市・東京を目指す」

モノづくり企業の軌跡が、梱包の未来を築く。

印南製作所は、昭和32年創業以来、「包む」という仕事に向き合ってまいりました。モノづくりの企業として培ってきた確かな技術と誇りを礎に、私たちは今日も、技術と真心をもって、「包む」を創り続けます。



「世界で一番の都市・東京」目指す

「2050東京戦略」—— 産業政策 3つの「S」



無電柱化工事完了後の環状7号線(足立区加平)

都は地震や水害などのあらゆる災害に対して幅広い対策を講じている。地震対策の一つに電線類を地中を通して電柱を撤去する「無電柱化」がある。地震発生時の被害軽減や緊急車両などの通行確保が期待できる。標準的な施工単位である道路延長400mの無電柱化には、一般的に約7年かかるとされているが、都の千代田・中央・港区を中心とするセンタリー・コアエリア内の都道ではおおむね整備が完了している。現在は重点整備エリアを環状7号線の内側エリアへ拡大し、整備を進めている。整備対象延長を232.8kmとする都道全線では、24年度末時点で48%の無電柱化が完了してい

「無電柱化」重点整備エリア拡大



環状7号線地下広域調節池(石神井川区間)の内部

水害対策、地下調節池で被害軽減

水害対策としては調節池の整備を進めている。調節池は洪水の一部を貯留するための施設。24年の1年間で25基、約3830立方メートルの延べ約115万立方メートルの洪水を取水し、下流の浸水被害を軽減した。現在は約268万立方メートルが稼働しており、今後は365万立方メートルへの拡大、また地下調節池を東京湾に接続して地下河川化することを目指す。高台の整備によっても対策している。東京都江戸川区の船堀地区では船堀駅周辺の再開発に合わせ、建築物から浸水区域外への移動ができる通路の設計が進む。新小岩公園(東京都葛飾区)では、緩傾斜型堤防と一体となった高台の整備が進んでいる。都は緩傾斜型堤防を整備する。傾斜を緩やかにすることで洪水で堤防を超えた水の流速を抑えられるほか、堤防の決壊リスクや耐震性向上にもつながる。大規模な整備には時間を要するが、都民の安全を確保するため着実に進めていく。

東京都は2025年に策定した「2050東京戦略」で未来の東京都のあり方を明確にするともに、幅広い政策を展開している。人口減少や気候変動など課題が山積する中、都民

の安心安全の確保や国際競争力の向上が求められる。同戦略では「世界で一番の都市・東京」を目指すことも掲げており、その実現には3つの「S」が重要だ。



東京都は2025年に策定した「2050東京戦略」で未来の東京都のあり方を明確にするとともに、幅広い政策を展開している。人口減少や気候変動など課題が山積する中、都民の安心安全の確保や国際競争力の向上が求められる。同戦略では「世界で一番の都市・東京」を目指すことも掲げており、その実現には3つの「S」が重要だ。

東京都は2025年に策定した「2050東京戦略」で未来の東京都のあり方を明確にするとともに、幅広い政策を展開している。人口減少や気候変動など課題が山積する中、都民の安心安全の確保や国際競争力の向上が求められる。同戦略では「世界で一番の都市・東京」を目指すことも掲げており、その実現には3つの「S」が重要だ。

東京都は2025年に策定した「2050東京戦略」で未来の東京都のあり方を明確にするとともに、幅広い政策を展開している。人口減少や気候変動など課題が山積する中、都民の安心安全の確保や国際競争力の向上が求められる。同戦略では「世界で一番の都市・東京」を目指すことも掲げており、その実現には3つの「S」が重要だ。

国産SAF普及拡大



国産SAFの普及拡大を目指す。航空分野では持続可能な航空燃料(SAF)の活用が積極的だ。SAFは廃食用油などを活用して製造できる航空燃料で、収集から使用までの二酸化炭素(CO2)排出量を大幅に削減できる。都はSAFの中でも国産SAFの普及拡大に力を入れる。全国で初めて国産と海外産との供給価格の差を助成する事業に乗り出した。SAFの安定供給や国際競争力の向上につなげる狙いだ。

サステナブル

都庁など都内約80カ所で廃食用油を回収している

目指す。

スタートアップ

都は東京発のユニコーン(企業価値10億ドル以上)の未上場企業、数や起業数、官民協働実践数をそれぞれ「5年で10倍」にする目標を22年に掲げ、スタートアップを強く支援している。三つの目標の中で早期の達成を実現したのが官民協働実践数だ。22年12月時点で年間9件だったが、25年3月末には同252件となった。都は職員とスタートアップが対話しながら都の課題解決を図る事業を実施している。また創業支援拠点「Tokyo Innovation Base」(TIB)「(東京都千代田区)で開いたイベント」で自治体が抱える課題の紹介などを通し、スタートアップとの連携のきっかけ作りに取り組んでいる。行政が調達した実績は企業の信頼となる。官民協働実践数は24年度は各局3件だった官民協働実践数の目標を25年度は各局10件に増やすことを示した。35年には年間1000件の達成を目指す。スタートアップ同士やベンチャーキャピタル(VC)、大企業との出合いの場となっているのが「Sushi Tech Tokyo」(シンテック東京)だ。25年は



TIBで開催したイベントは官民協働のきっかけ作りとなった

出合い創出イベント開催

スタートアップ出展数が24年の434社を超え、目標の500社をも上回る607社となるなど、過去最大規模での開催となった。26年は4月27・29日に東京ビッグサイト(同江東区)で開催を予定する。支援拠点も豊富だ。スタートアップと支援者や大企業などとの交流拠点であるTIBのほか、起業家の基礎スキル獲得を支援する「青山スタートアップアクセラレーションセンター」(同渋谷区)、官民連携を支援する「TOKYO UPGRADE SQUARE」(同新宿区)などがあり、目的に合わせてスタートアップの発展を支えている。

ナカザだけがやっのけるプレス加工で2回巻き

Double bending in progressive dies? Only Nakaza makes it real.

国内外の各業界関係者による数多くの高評価を裏付けるように「深絞り」で公的な受賞を重ねてきた技術。

その歩みをとどめることなく。更なる高みへ進み続けます。



- 精密機器
- 重電機器
- 人工衛星
- 自動車

各種部品製作

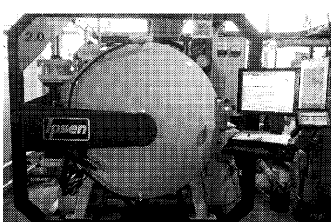
■鉄、アルミニウム、ステンレス、パーマロイ、チタンその他の深絞り全般的深絞り金型製作
■板バネ加工、板金加工、アセンブリ

え? 本当?
コロンブスのたまご?
信じられない



金属熱処理 技術・技能のスペシャリスト集団! 航空機部品の熱処理もお任せ下さい!

創業以来「お客様の製造ラインの一部門たれ」をモットーに、鋼に魂を入れる作業を続けてまいりました。3名の現代の名工を筆頭に、長年の経験を有する多くの優れた熟練工と技術者を擁し、「難しい熱処理は上島に頼め」と評判の会社です。航空機部品の熱処理(JIS Q 9100・Nadcap認証取得済)や厳しい温度管理を必要とする精密熱処理テストも承っております。



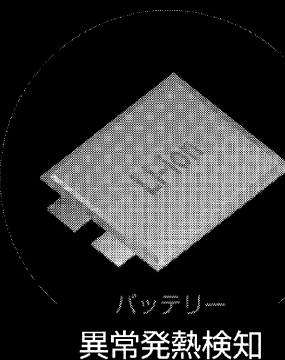
IoT機能装備 航空機部品対応真空炉

- 営業品目
1. 金属熱処理加工(塩浴・真空):焼入焼戻し(高速度工具鋼を主とした工具鋼・マルテンサイト系ステンレス鋼)・固溶化(溶体化)・時効処理(鉄鋼材料、アルミ合金)・サブゼロ処理・クライオ処理 2. 表面改質処理:PVD処理・ガス軟窒化・ホモ処理・WPC処理 3. 摩擦圧接加工 4. 精密熱処理テスト

株式会社上島熱処理工業所 〒146-0081 東京都大田区仲池上2-23-13 TEL:03-3753-7788(代) FAX:03-3751-5684 URL:http://www.kamijima.co.jp E-mail:info@kamijima.co.jp

熱の流れが見えてくる

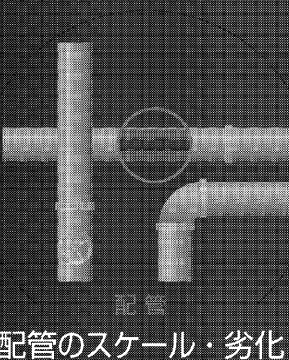
小さいながら高感度、熱の微弱な流れる方向と量を検知する



バッテリー 異常発熱検知



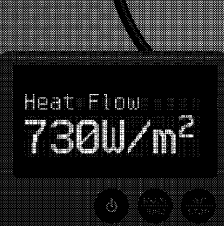
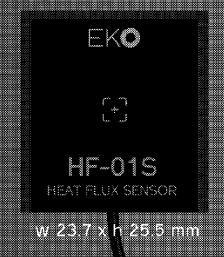
モーター・ベアリング 予知保全



配管のスケール・劣化

EKO

熱流計



東京都経営革新優秀賞

イノベーションの促進と東京経済の発展に貢献

過去4年間の受賞企業一覧

2024 年度	
最優秀賞	昭和印刷（株）【江戸川区】
優秀賞	（株）ウオールナット【立川市】
奨励賞	（株）イマジネーション・プラス【千代田区】
奨励賞	（株）ENJOY JAPAN【新宿区】
奨励賞	（株）平沢製館所【目黒区】

2023 年度	
最優秀賞	（株）三精【台東区】
優秀賞	金井畜産（株）【武蔵村山市】
優秀賞	（株）to【目黒区】
奨励賞	FIT Trading（株）【港区】
奨励賞	（株）キャリアコンサルティング【千代田区】
奨励賞	林 太輔（屋号：Sunday Climbing Industry）【板橋区】

2022 年度	
最優秀賞	（株）アイエクセス【中央区】
優秀賞	（株）スター商事【荒川区】
優秀賞	白山印刷（株）【台東区】
奨励賞	アイサーク（株）【台東区】
奨励賞	新井ハガネ（株）【墨田区】
奨励賞	エスエスビジネスフォーム（株）【荒川区】

2021 年度	
最優秀賞	（株）ナツメスタジオワークス【千代田区】
優秀賞	（株）川村インターナショナル【新宿区】
優秀賞	デジタルデータソリューション（株）【港区】
奨励賞	（株）池田製作所【青梅市】
奨励賞	（株）西川精機製作所【江戸川区】

東京都経営革新優秀賞は、東京都が都内中小企業の革新的な取り組みにより顕著な経営向上を果たし、他の模範となる企業を表彰する都独自の制度で、2010年から実施している。承認した経営革新計画に基づき、独自の技術や製品、サービス、新たなビジネスモデルの創出といった新事業で業績向上や地域経済の活性化に寄与した企業が対象となる。受賞企業は、都の広報

や展示会などで紹介するほか、取引先や金融機関への信用力向上にもつながり、さらなる事業展開の後押しとなる。本賞は、挑戦する中小企業を表彰する制度として、イノベーションの促進と東京経済の発展において重要な役割を担っている。今回は過去4年間の受賞企業一覧と、その中から3社をピックアップし紹介する。

アイエクセス

2022年度 最優秀賞

AIを利用した医学医療プラットフォームの開発と展開



代表取締役 山崎 邦利氏

アイエクセスは2017年創業の情報サービス企業で、AI（人工知能）事業とシステムインテグレーション事業を展開している。AI事業では自然言語処理エンジンとプラットフォームの開発を主軸とし、システムインテグレーションでは金融機関の決済システムや通信会社のビッグデータ分析を担っている。本賞では、自社開発AI自然言語処理エンジンを搭載した医学論文を読み解く分析プラットフォーム「AI IntraES」を開発し、業績を伸ばしたことが高く評価された。コロナ禍で営業活動が困難となり計画は遅延したが、開発に集中できたことで製品の完成度が向上したことも売り上げ増につながった。誰もが使える「医学医療情報分析プラットフォーム」の実装を目指し、AIが論文間の因果関係を紐解き可視化するロジックを、製薬企業や大学、医学研究機関に展開。この数千万件の医学論文を一度に分析する技術によって研究効率を高めた。国内大手企業や大学で導入が進み、ライセンス提供や分析リポートによる収益化も進んでいる。今後はアカデミアとの共同研究の成果を通じて、医学基礎研究への技術的貢献を目指す。

川村インターナショナル

2021年度 優秀賞

自動翻訳活用ソリューションの提供



代表取締役社長 森口 功造氏

川村インターナショナルは創業以来、翻訳・ローカライゼーションを主業務としている。DTPや字幕、ナレーション、通訳など関連業務も展開し、「遅しさ・動きが悪い・社会貢献」をビジョンに掲げる。新規事業として、翻訳支援ツールと連携可能なプラットフォームや新サービスの構築のほか、NICTの自動翻訳エンジンを活用した商用サービスも始めた。またAI学習サービスと連携した教師データ作成ツールも開発するなど、高精度な翻訳サービスを提供している。これにより自動車・機械メーカーなど顧客層が拡大し、売上高・付加価値額ともに成長した。今後もデジタル変革（DX）を推進し、自動翻訳の精度向上と市場拡大を目指す。

新井ハガネ

2022年度 奨励賞

特殊鋼の物流BCP基盤の構築



代表取締役社長 新井 信一郎氏

新井ハガネは特殊鋼鋼材専門商社として創業以来100年にわたり、金属加工業界の発展を支えてきた。構造用鋼、パネ鋼、ステンレス鋼、工具鋼など多様な鋼材を取り扱い、顧客のニーズに応じた高精度・短納期・小ロット対応を実現している。近年では、加工サービスの内製化やデジタル技術の導入を進め、付加価値の高いサービスを提供し、特に「太田事業所を中心とした複数拠点の連携による物流事業継続計画（BCP）体制の構築」は、災害時や緊急時における安定供給を可能にし、地域製造業の事業継続をサポートする。本賞では、震災および新型コロナウイルス感染症などの拡大によるサプライチェーンの寸断に対応するために顧客対応型の物流BCP基盤を確立したことが評価された。「取引して良かった」と言われる企業を目指す姿勢は、社内外から高い信頼を得ている。今後は、航空・宇宙分野など成長領域への展開を視野に入れ、より完成品に近い高精度鋼材の供給を通じて、日本のモノづくりを支える存在として、持続可能な社会の実現に貢献していく。

自動運転を支える技術力のさらなる強化が 城東自動車工場の未来です!!

自動運転車両の改造・整備 ドライバー異常時対応システム（後付けEDSS）開発・販売
低公害車両の改造・整備 大型トラック・バス整備、新車トラック・バス架装



株式会社 城東自動車工場
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-3-5 TEL.03-3634-1701 FAX.03-3631-3552 <https://www.joto-garage.co.jp>

工場・倉庫・狭小スペースの床面有効活用!!

天吊型ユニットヒーター

【電熱式・蒸気式・温水式】

標準仕様（SSケース・SSファン）

オールSUS仕様（SUSケース・SUSファン）

工場などの暖房
各種乾燥室の加熱器
倉庫などの恒温調整用加熱器
冷凍品の解凍

- 電熱式ファンヒーターなので、安全でクリーンな加熱が可能。（風向を上下左右に調整できる）
- 天吊型なので床面の有効活用が可能。
- 5～40℃の標準型
- 5～80℃の耐熱型
- 20～-30℃の防湿型
- 防食性に優れたオールSUS仕様

※オプションで操作ボックスも用意

創業以来64年!

日本電化工機株式会社

<https://www.n-denka.co.jp>

☎03-5760-7011

FAX03-5760-7511

SANSHIN GROUP 60th

スイッチング・トランス

設計・試作・量産のワンストップ

- 熱・ノイズ・サイズのソリューション実績
- 球状コア・クールボビンなどの価値提案
- 国内試作ラインによる密着した伴走支援

どうぞお気軽にご相談ください

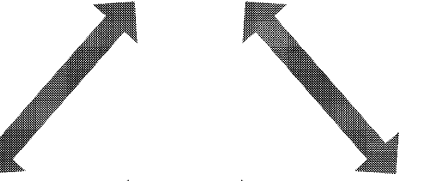
サンシン電気株式会社

<https://www.sanshin-ele.com/>

企業の経営課題解決へトータル支援

価格転嫁、賃上げの実現

価格交渉支援
価格交渉資料の作成方法や
適正価格・値決めの仕方等を支援します



原価管理支援
原価計算方法の手法や
個別原価管理等の体制構築を
支援します

SU等を活用した
価格転嫁・賃上げ支援
原価や人件費管理のための
デジタルツールの導入を支援します

※企業の課題・ニーズに応じて支援します

東京都中小企業振興公社は、都内中小企業の価格転嫁や賃上げを後押ししている。原価管理アドバイザーの派遣やスタートアップが提供するシステムの活用で適切に原価等を管理し、「価格交渉アドバイザー」が交渉を支援する。原価を示した価格交渉で価格への反映を成功に導く。エネルギーコストや労務費の上昇、賃上げの推進に伴い、価格転嫁に踏み切れない企業が見られた。そこで24年度から原価管理アドバイザーの派遣を開始。現場の実見やヒアリングを通じて、原価管理の体制構築を支援する。

価格転嫁・賃上げ支援

東京都中小企業振興公社

東京都中小企業振興公社は、東京都と連携して都内中小企業に幅広いサービスを展開する公的機関。都内中小企業の発展や課題解決を後押しする。物価高や関税の影響など経営を取り巻く環境が厳しさを増す中、価格転嫁や収益力向上をどう支援していくのか。中西充理事長に話を聞いた。

―都内中小企業の景況感や経営課題は。―
「東京都の調査では都内中小企業の業況はおおむね横ばい。今後3カ月の見通しは一部で上向き感も見受けられる。一方で、今般の米価高騰や関税の発動により、企業への幅広い影響が懸念される。当面は大企業を中心に今後の方針を固め、それに中小企業が対応していく形になるだろう。課題は諸物価が高騰する中、受注単価や販売価格への反映が進んでいない

理事長

中西 充氏



「変革力向上」伴走支援を拡充

ことだ。公社では価格転嫁への取り組みや、変化する外部環境に柔軟に対応するための企業の変革力向上を後押しする。価格転嫁を進めるための具体的な支援を展開している。価格転嫁を進めるための具体的な支援を展開している。価格転嫁を進めるための具体的な支援を展開している。

企業と対話 地道に普及啓発

必要データの準備や交渉の進め方を支援している。また2025年度にはスタートアップが提供するシステムを活用した原価管理支援を始めた。価格転嫁や人手不足問題解決には業務効率化も欠かせません。以前から力を入れている「DX推進支援事業」は利用実績が好調で、25年度には支援件数を170社から200社に拡充した。専門家が訪問し、各企業に合わせた業務プロセスの再構築な

企業変革促進事業

東京都中小企業振興公社は「サブライチー」強化等に向けた企業変革促進事業を2025年度から開始した。前身事業を基に助成金や専門家派遣、オープンイノベーションプログラムなど、先を見据えた支援内容を拡充した。戦略的策定で終わらず、実行段階まで支援する。VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代と言われる昨今、中小企業が生き残るには自ら変革する力が求められる。本事業は、企業変革力「ダイナミック・セイバリティ」を高め、サブライチー(供給網)の強化につながるため複合的な支援機能を提供している。25年度は当初の計画数60社に対し、64社の受講を決定。受講者は9回の企業変革スクールを通じ、事業計画策定に必要な知識を学ぶ。さらに、企業ごとに専任のアドバイザーが付き、戦略・事業計画の考案をサポートしながら後続の支援機能で実践を後押しする。

「原価を示した価格交渉」を支援

原価管理支援強化のため、25年度から「スタートアップ等を活用した価格転嫁・賃上げ支援事業」を開始した。スタートアップが提供する原価管理システム等の導入費用を1社につき100万円まで負担する。システムには、コストの可視化や工数管理から原価計算までを一元化できるものなどがある。募集は11月まで、支援期間は26年2月まで。

生産性向上支援課の堀切川祐子課長は「システムが適合するかどうかは使ってみないとわからない。支援制度を活用してぜひ試してみてほしい」と積極的な利用を呼びかける。



テスト開発助成金・オープンイノベーションなど追加

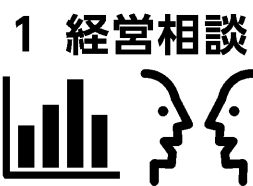
二つ目は、専門家派遣だ。一貫して伴走するのは専任アドバイザーだが、ITや人事など専門的な支援が必要な場合はより深い知識を持つ専門家が対応する。三つ目は、「オープンイノベーションプログラム」で、アドバイザーによる販路開拓やマッチング支援を拡充した。民間が運営するプラットフォーム(基盤)を活用することで、幅広く協業先との出会いを後押しする狙いだ。

同課の宮下卓也課長代理は「事業計画策定後の支援内容を充実させた。計画を実際に行動に移していただきたい」と企業変革に期待を寄せる。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

東京都と連携して、中小企業みなさまに
幅広いサービスを展開する公的機関です

企業の成長ステージに合わせた100を超える支援メニュー



1 経営相談
■様々な分野で活躍する専門家に相談できます
■ICT、IoT、AI、ロボット、デザイン、創業、海外取引など、専門的な相談にも対応します
■事業承継やBCP策定等も、専門のアドバイザーがバックアップします

2 助成金



■製品開発、販路拡大、創業、生産性向上、知的財産、設備投資、危機管理など、豊富な助成金を用意しています

3 販路拡大



■販路開拓の専門家が、優れた製品開発・技術の販路開拓を支援します
■リアルとオンラインを活用した国内外の販路開拓を支援します

4 人材支援



■人材に関する専門家の個別・継続サポートで組織体制整備を支援します
■自社の課題に合わせた研修をご提案します

5 知的財産



■知的財産の専門家が国内外の特許・実用新案・意匠・商標、その他知的財産に関する相談に応じます
■知的財産に関するセミナー、助成金等でも支援します

まだ利用したことがない方へ！ 2分で解る『早わかりガイド』はこちら



東京都立産業貿易センター

交通至便な
販路拡大
拠点
約700㎡から
1500㎡の
多目的
スペース
頑張る
中小企業に
安心料金



浅草駅から徒歩5分！
ひとが集う東京名所でビジネス発信
東京都立産業貿易センター 台東館
TEL.03-3844-6190



ビジネスチャンスは、
ここから。

浜松町駅から徒歩5分！
竹芝エリアの新国際ビジネス拠点
東京都立産業貿易センター 浜松町館
TEL.03-3434-4242



指定管理者 公益財団法人 東京都中小企業振興公社

中小の競争力強化 技術面でサポート

東京都立産業技術研究センター



地域技術支援部長
林 英男 氏

東京都立産業技術研究センターは最新の設備や専門的な知識を持つ人材がそろい、製品試作や検査、共同研究などあらゆる面から都内中小企業のものづくりを後押ししている。各拠点・支所の特徴や支援事例、専門人材の確保について、林英男地域技術支援部長に話を聞いた。

「都産技研の役割や主な事業内容は、中小企業を技術面で支援することが都産技研の役割だ。拠点は七つで、本部（東京都江東区）、多摩テクノプラザ（昭島市）、城東支所（葛飾区）、墨田支所（墨田区）、城南支所（大田区）、食品技術センター（千代田区）がある。パンコク支所は東南アジア諸国連合（ASEAN）地域に進出して、日本企業を支援することが目的だ。」

「一般的な支援としては、職員が試験品を預かって評価する『依頼試験』と、利用希望者が来所して装置を使う『機器利用』の二つがある。23区内4支所のみで2024年度の依頼試験の件数は1万2000件、機器利用は2万2000件に上り、21年度から24年度までの4年間で累計3000社以上に利用いただいている。このほかにも、共同研究や委託研究を実施している。また城東・城南・パンコク支所は同じ建物内に東京都中小企業振興公社（以下、公社）の支社や事務所が入居しており、技術面は都産技研が、経営面は公社が支援している。」

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

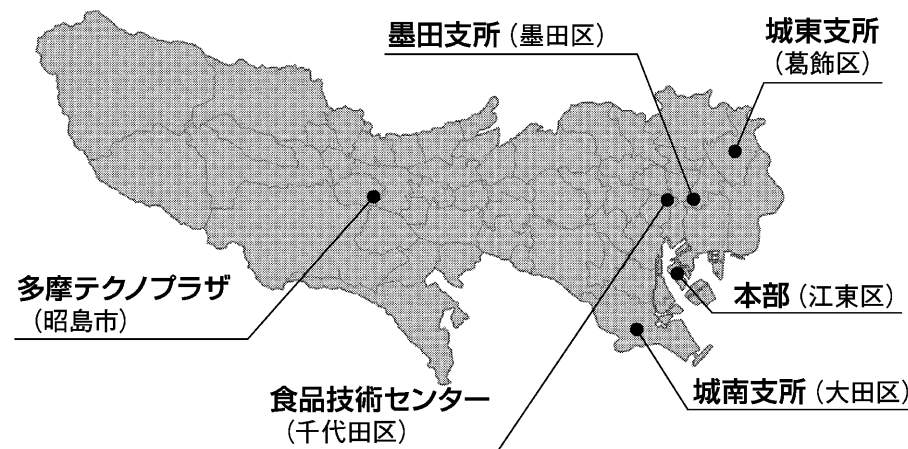
「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

共同研究で製品開発加速

最新設備・専門人材 ものづくり後押し

地域や支所の特徴を生かした支援



め、城東支所ではプロダクトデザインの考案やそれを形にできる機器・人材が集まっている。施設の経年劣化などを理由に、23年4月から改修工事を進めており、25年度中の再開を予定する。リニューアルで最も重視しているのがデジタル支援だ。中小企業ではデジタル変革（DX）がうまく進んでいないことが多い。改修後は設備を一新し、デジタル技術を活用した製品デザインや加工技術強化し、機能を一層向上させる。」

「城南地区には機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「頼りになる都産技研」目指す

「中小企業の支援が最優先だが、時代の流れについていくことも必要。研究費を確保し、職員が自身の研究に臨める環境を整えている。中小企業振興に関わるものであれば幅広い分野で研究できる。また大学や研究機関は博士号を取得していないことがほとんどだが、都産技研では修士号を取得し、頼りになる都産技研を目指していく。」

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大

「墨田支所は地域特性に合わせた支援を展開する。城東地区には生活関連用品の製造に関わる中小企業が集積しているため、城東支所では機械金加工に関する中小企業が集積しているため、城南支所では試作加工ができる機器がそろっている。例えば透明な成形物を製作できる3次元（3D）プリンターがあり、可動部や配線を容易に確認できる。試作加工、寸法測定、耐候性・耐食性評価を得意とするチームがそろっている。これらをサポートする『ものづくりを支援する』という役割がある。墨田支所と食品技術センターは、小麦粉の50%を大麥粉に置き換えた『大



都産技研の城東支所

支所の製品化支援事例



製品開発の「困った」を都産技研で解決しませんか？

DX化をどこから始める？

強度やコストを考えた設計ができない

図面通りに、まずは一つ作ってみたい

作った試作品の性能を、客観的に評価したい

品質を安定させ、不良品を減らしたい

輸出に必要な技術的な書類が作れない

企画

設計・デザイン

試作

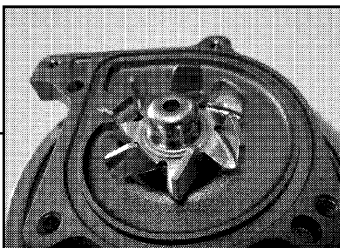
評価・試験

製造

輸出



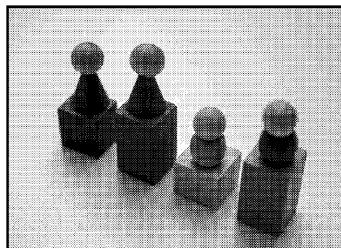
手持ちの設備をIoT化したい



三次元の複雑形状を一品から



その機能を数値で可視化



国のルールが違っても輸出できる

※掲載の画像はイメージです

- 本部：江東区青海2-4-10 TEL：03-5530-2111（代表）
- 多摩テクノプラザ（昭島市） ● 城東支所（葛飾区）
- 墨田支所（墨田区） ● 城南支所（大田区） ● 食品技術センター（千代田区）
- [海外拠点] パンコク支所（タイ王国）



地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

<https://www.iri-tokyo.jp/>

都産技研

検索

飛躍的な成長を目指す企業 伴走支援

中小企業基盤整備機構 中小企業政策

インタビュー

物価高や原材料高、トランプ米政権の関税政策による不確実性の高まり、少子高齢化や人手不足といった構造的課題への対応が求められるなど、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。そうした中で、意欲ある中小企業の成長を引き出し、潜在的な力をいかに伸ばしていくのか。中小企業基盤整備機構では、飛躍的な成長を目指す企業に対する伴走支援などを通じてさまざまな施策を提供している。中小機構関東本部の新保章本部長に話を聞いた。

売上高100億円宣言

挑戦する経営者を応援

「中小企業の経営環境をどう見ますか。」

「中小企業景況調査（2025年4～6月期）」では、製造業を除いた全ての業種で「従業員数過不足D」が過去最低を更新した。人手不足は深刻な課題だ。引き続き高い水準の賃上げが求められており、その原資を確保する必要がある。働き方改革や魅力ある職場づくりも急務となっている。「原材料・商品仕入単価D」は高止まりの状態が続く。物価高、原料高を含めてインフレの世界に入ってきた。約30年ぶりに金利のある世界も戻ってきた。コストカット中心から、価格転嫁を進め、設備投資を積極的に行い、業務の効率化や付加価値向上に取り組むことが大切になっている。米関税の影響については引き続き注視していく」

「売上高100億円を目指すことを宣言した企業を後押しします。」

新保 章氏

関東本部長

設備投資に成長加速化補助金

サイトで宣言した企業を支援する内容を紹介しており、公表件数は早くも1734件（9月8日時点）となっている。経営者のメッセージや、売上高100億円実現の目標や課題、具体的な取り組みが確認できる。業種や地域を超え、全国から多くの中小企業が100億宣言を行っており、成長に向けた熱意をひしひしと感じる。

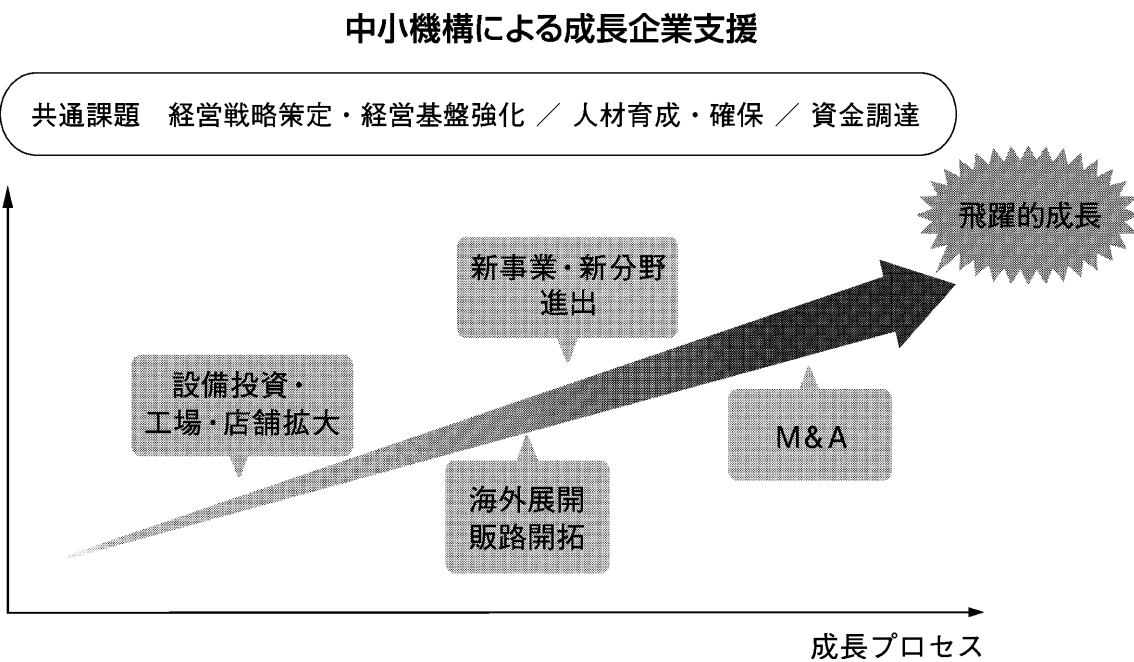
「関東本部では、高い成長を目指す中小企業を対象に重点的に伴走支援を実施している。具体的には経営者や経営幹部等と定期的なコミュニケーションを交わしながら、成長に向けた課題の整理、支援メニューの提案、具体的な支援を中長期にわたり実施する。売り上げ100億円を目指す過程では、さまざまな課題に直面する。中小機構は伴走者として、成長戦略や経営課題を捉えた支援メニューを紹介、提案をサポートしていく」

「100億宣言を行っていないことや賃上げなどを要件とした『中小企業成長加速化補助金』で中小企業の成長投資を後押しする。工場や物流拠点などの新設・増築、イノベーションの創出に向けた設備の導入、自動化による革新的な生産性向上などに、最大で5億円を補助する（補助率は2分の1以内）。第1回の受け付けは6月に終了したが、多くの申請をいただいた。今後、第2回の公募も予定されているが、詳細は適宜ポータルサイトで公開する。中小企業者目録投資補助金など、それ以外の補助金もあるので、目的に応じて活用してもらいたい。詳細は補助金活用ナビを参考にしたい」

「人材の育成・確保に向けた支援の重要性が高まっています。採用した人材を定着させ、育成することは、人手不足対策としても有効な取り組みだ。自社でのオン・ザ・ジョブ・トレーニング（OJT）に加えて、中小機構が全国9カ所に設置している中小企業大学校も活用してもらいたい。1962年の開校以来、約75万人の受講実績があり、身につく実践的な研修メニューが売れた。また、受講者の利便性も考えオンラインで受講ができるWEBEe Campusも開設している。研修を身近で受講できるように自治体や支援機関などと連携した校外研修も実施している。東京都には、東大和市に中小企業大学校東京校がある。宿泊施設も整備しており、戦略や営業、財務などのテーマ別研修、経営者や管理者候補に至るさまざまな階層を対象とした階層別研修に加え、後継者を育成する10カ月の研修や、中小企業診断士の養成まで、多彩な研修コースを提供している。不確実性が高く、将来の予測が困難な現在の経営環境下では、社員一人ひとりが自ら考え行動することが、組織の競争力向上につながる。人材育成の支援は今後も力を入れていきたい分野だ」

「海外展開・販路開拓も支援しています。『対象国や進め方は企業ごとに異なるが、国内市場の縮小に伴い、持続的成長を目指す上では海外市場の開拓が重要な選択となる。ただし国内とは異なるリスクもあり、綿密に計画を作って進めることが重要だ。中小機構では豊富な実務知識や経験、ノウハウを持つ専門家が、海外レジネーションに関する幅広い相談に対応する。自社に最適な海外展開のあり方を一緒に考える」

「また今年は、2025年大阪・関西万博で世界中から多数の海外ミッション団や海外企業などが訪日している。その機会を利用して、海外企業の最高経営責任者（CEO）などと直接商談ができる『海外CEO商談会』といった支援メニューを用意し、出



人材育成・確保 海外展開・販路開拓 … 多彩な支援メニュー

「100億宣言」とは？

飛躍的な成長を目指す中小企業が、10年を目安に「売上高100億円」を超える野心的な目標を掲げ、実現に向けた取組を行っていくことを自ら宣言するものです。「100億宣言」は、事務局が運営するポータルサイトに掲載されます。

「100億宣言」に記載する内容

- 1 企業概要
- 2 企業理念・経営者の意気込み
- 3 売上高100億円実現の目標と課題
- 4 売上高100億円に向けた具体的な措置（取組）等

「100億宣言」のメリット

補助金・税制の活用

中小企業成長加速化補助金等、「宣言」の取得が基本要件となる補助金・税制の申請が可能になります（別途、必要書類を提出した上で、審査があります）。

経営者ネットワークへの参加

「宣言」を取得した企業の経営者・経営幹部が、地域・業種を超えて刺激し合えるネットワークイベント等にご参加いただけます。

公式ロゴマークの活用による自社PR

「宣言」を取得した企業は「公式ロゴマーク」を使用できます。名刺や自社Webサイトへの記載などで自社の取組のPRにご活用ください。

※「100億宣言」の取得に際しては、所定の要件と記載内容の確認があります。

Be a Great Small.
中小機構

Be a Great Small.
中小企業のそばに、いつも。

中小企業の皆様に、寄り添い続ける存在でありたい。
お気軽にご相談ください。

中小機構 関東本部



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部 東京都港区虎ノ門3-5-1 Tel: 03-5470-1509

- イノベーション
- 創業・スタートアップ支援／生産性の向上
海外展開支援／販路拡大・市場開拓支援
- 事業の継続
- 事業承継／災害に対する備え
共済制度 など
- 経営力の強化
- 経営相談／人材育成



地域を支える金融機関のメッセージ

商工組合中央金庫



取締役
常務執行役員
山田 真也 氏

中小企業こそ成長の主役に

6月12日、政府保有株式の売却により商工中金は民営化し、業務範囲の拡大に加え、出資対象先範囲の拡大と期間の長期化が実現しました。今後は、出資した企業はもろにのこる、お取引先に対して商工中金グループのあらゆる経営資源を活用していただき、中小企業の成長に貢献してまいります。

人口減少下の日本で、中小企業のポテンシャルを生かし、東京を中心に中小企業が主役となる成長市場を創出していきます。民営化商工中金とともに成長する未来の東京に期待ください。

日本政策金融公庫 国民生活事業



東京地区統轄
阿部 武史 氏

地域経済の未来に貢献

日本政策金融公庫国民生活事業は、小規模事業者の皆さまの事業資金融資や教育資金融資を通じて、身近で親身な金融機関としての役割発揮に努めています。

創業支援では、女性・若者・シニアなど幅広い層への支援に加え、毎年開催している「高校生ビジネスプラン・フェア」に、第三者承認が一般的になるようなマッチング支援にも取り組んでいます。

日本政策金融公庫 農林水産事業



関東甲信越
地区統轄
武者 雄二 氏

未来を切り拓く農林水産業へ

日本政策金融公庫農林水産事業は、国の施策に沿って、農林漁業・食品産業に携わる皆さまの持続的な発展と自然災害などの影響に対するセーフティネット機能の発揮のため、長期事業資金の融資を行っております。

日本政策金融公庫 中小企業事業



東京地区統轄
船山 学 氏

中小企業の挑戦をサポート

日本政策金融公庫中小企業事業は、政策金融の担い手として、地域経済を支える中小企業者の皆さまの「安心と挑戦を支える」ことを使命に、セーフティネット機能のほか、新事業、海外展開、事業再生、事業承継などの取り組みを積極的にサポートしております。

西武信用金庫



理事長
高橋 一朗 氏

企業の挑戦に「協働」未来築く

世界経済の不安定化や金利の上昇、DX・GXへの対応など、事業環境は厳しさを増しています。しかしながら、人口減少時代においては多様性が重視され柔軟性や独自性を生かすことができる好機でもあります。

西武信用金庫では、販売支援や技術の高度化・移転を通じて、地域事業者の持つ力を最大限に引き出し、企業の成長を支援する体制を整える一環として7月に地域商社を設立しました。

多摩信用金庫



理事長
金井 雅彦 氏

お客さま同士のつながりを支援

多摩信用金庫は、多摩地域の事業者の成長発展に向けた多彩なサービスを提供しています。特に近年は販路開拓や事業資金の連携を促進するため、AI（人工知能）技術を用いたシームレスなマッチング支援に金庫として取り組んでいます。

営業担当者が日々取得するリアルタイムな情報を全店舗で共有し、事業者同士がお互いの強みを活かして歩んでまいります。

城南信用金庫



理事長
林 稔 氏

地域社会と先進技術融和

信用金庫は常に地域社会と共に歩んでいます。昨今、急速にデジタル化が進んでいますが、コミュニケーション（AI・人工知能）などの新しい技術を生かすには、シナプスのように地域社会に根をはり、融和させることが求められます。

私たちは「不易流行」の精神を重んじ、普通の変革に守りつつ、環境の変化に対応し、果敢に新しい挑戦を続けます。これからも地域社会との有機的なつながりを大切に、地域の発展に尽力してまいります。

東京きらぼしフィナンシャルグループ



代表取締役
グループCEO
渡邊 壽信 氏

TOKYOの課題解決

東京きらぼしフィナンシャルグループは、傘下にきらぼし銀行とUJ銀行を持つ、東京圏に根ざした地域金融グループです。

「TOKYOに、つくそう。」というパースのもと、グループ22社の力を結集し、外部パートナーと連携しながら東京圏の社会課題解決「サービス」を将来像として掲げており、金融の枠を超えたサービス提供に努め、地域経済や地域社会の持続可能な発展に向けて共に歩んでまいります。

東京三協信用金庫



理事長
中島 久喜 氏

創立100周年 感謝を胸に未来へ

東京三協信用金庫は、本年10月12日に創立100周年を迎えます。これも偏にお客さま並びに地域の皆さまからのご支援や監督官庁、行政、支援機関の方々によるご指導のたまものと心より御礼を申し上げます。

創立100周年で掲げたスローガン『お客さまと共に歩んできた』を、これからも共に歩んでまいります。

東京信用金庫



理事長
増子 弘毅 氏

顧客に寄り添い伴走支援を徹底

東京信用金庫は、地域社会やお取引先の皆さまにとって「最も身近で、最も頼りになる金融機関」となることを目指しております。

その実現のため、①「定期積金を中心とした営業活動」②「積極的かつ柔軟なサービス」を推進しています。

巢鴨信用金庫



理事長
二瓶 克博 氏

事業者の課題解決や夢の実現支援

巢鴨信用金庫は、1922年の創業以来、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。

事業者の皆さまは課題解決や夢の実現のご相談をはじめ、お客さま同士をお繋ぎする「ウェブサイト『縁の市』」や「すぐにもビジネスフェア『四の市』」を情報発信の場として活用いただいております。

朝日信用金庫



理事長
伊藤 康博 氏

創業者に身近な金融アドバイザー

朝日信用金庫は、創業を支援する事業である「朝日創業指す方」や創業後間もない方々「塾」を開業し、受講された創業者は会社設立の際の登録免許税の軽減措置や融資を受け、融資実行後のフォローアップなどを行っております。

2018年より経済産業省の産業競争力強化法に基づく認定支援等事業計画の特定創業施策として、地域における創業を応援してまいります。

SANSHIN GROUP 60th

採用している電子部品の終息
お困りではありませんか？

- 代替え部品のご提案
- 代替え部品の開発・設計・製造のご提案
- スイッチング電源の代替えご提案

どうぞお気軽にご相談ください

サンシン電気株式会社
https://www.sanshin-ele.com/



次世代の価値を ここから

いざ、始動。



新井ハガネ 株式会社

(本 社) 〒130-0023 東京都墨田区立川2-9-8 TEL.03-3635-1181(代)
市川支店・郡山支店・太田事業所 https://www.araihagane.co.jp



TOKYOに、つくそう。

東京きらぼしフィナンシャルグループ
きらぼし銀行

〒107-0062 東京都港区南青山3-10-43 TEL 03-3352-2271 https://www.kiraboshibank.co.jp



地元応援団 +朝日。



街の鼓動に敏感です
朝日信用金庫
本部/千代田区東神田2-1-2
本店/台東区台東2-8-2

中小企業に全力パートナー

絶賛、全力中!

ブランドサイト
開設

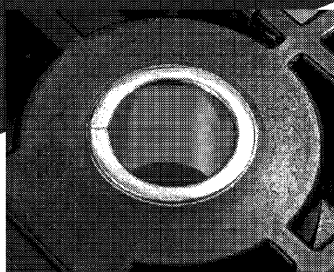


商工中金

インサートブッシュ

樹脂成形品のボルト穴補強に!実績多数

樹脂インサート
成形まで一貫生産
まとめて
お任せください!

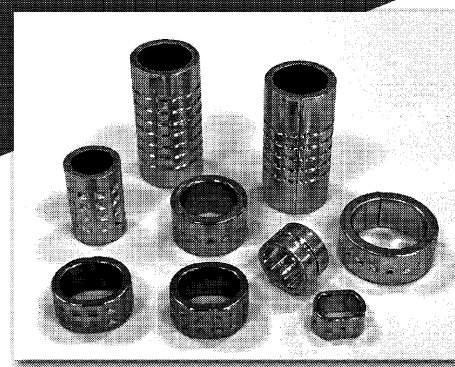


インサート成形例

密着加工
樹脂成形時の
樹脂漏れ対策

形状対応
横円・長穴タイプの
加工もOK

凹み加工
空転・抜け防止
対策



太陽ステンレススプリング株式会社

03-3922-4111



エクセレントカンパニー

上島熱処理工業所



この証明書は、Nadcap Management Councilの承認に基づき、KAMIJIMA NETSUSHORI CO., LTD.が、Heat Treating分野において、品質と技術の卓越性を証明しています。

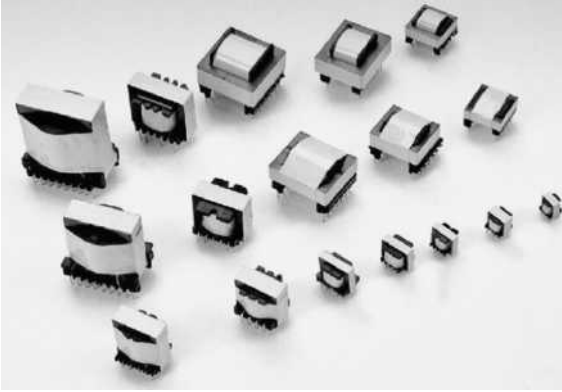
熱処理の技術者・技能集団

上島熱処理工業所（東京都大田区、上島健社長）は、高速度工具鋼を主とした、切削工具や塑性加工用金型部品などの工具鋼製品の熱処理を得意とする。3人の現代の名工を筆頭に、ほとんどの従業員が特級または1級の熱処理技術士資格を持つた技術者・技能者集団である。ソルトバス・真空炉・大気炉・ホム処理兼用ガス軟酸化炉・PVDコーティング装置・摩

航空機など新分野拡充

最近では、新分野での開発の相談が多く、大手企業と機密保持を締結して、空飛ぶ自動車（eVTOL）、国際宇宙ステーション、国立天文台電波望遠鏡などの開発案件が進行中である。現在の主な川下産業である自動車産業に代わって、新しい分野の仕事を拡充を図りたい。新分野での熱処理にお困りの時は、ぜひ「技術のカミジマ」にご相談ください。

サンシン電気



スイッチングトランスのラインアップ

スイッチングトランス安定供給

サンシン電気（東京都練馬区、石井宏宗社長）は、今年、スイッチングトランスの国内試作ラインを新設する。これまで中国工場に依存してきたが、国内回帰により開発・生産体制の安定化を図る。試作サンプルのリードタイムを短縮することにも、顧客仕様変更への迅速な対応を可能にする。また、量産前段階で

国内試作ライン新設

の作業手順を国内で明確化することで、効率的な生産プロセスの構築につなげる。同社はこれまで、不要輻射ノイズや伝導ノイズを低減した「球状トランス」や冷却性能を高めた「クールトランス」など、独自技術の開発を推進してきた。今回の国内試作ライン導入は、こうした研究成果を製品化へと早期に反映させる仕組みとして位置付ける。さらに電源回路設計のノウハウを組み合わせて、小型化・大電力化といった市場要求に応えると同時に、安定供給を通じて顧客満足度の向上と社会課題の解決への貢献を目指す。

サウンドファン



テレビの音の聞こえを改善した「ミライスピーカー・ミニ」

「ミライスピーカー」販売

サウンドファン（東京都中央区、山地浩社長）は、テレビの音の聞こえに不満を改善できるスピーカー「ミライスピーカー」を開発、販売する。スピーカーには特許取得済み技術「曲面サウンド」を用いている。通常「スピーカーの振動板は円錐形だがミライスピーカーは平板を湾曲させた振動板により、遠くまではつきりとした音を届ける。音の減衰が少

「曲面サウンド」で聞きやすく

サウンドファン（東京都中央区、山地浩社長）は、テレビの音の聞こえに不満を改善できるスピーカー「ミライスピーカー」を開発、販売する。スピーカーには特許取得済み技術「曲面サウンド」を用いている。通常「スピーカーの振動板は円錐形だがミライスピーカーは平板を湾曲させた振動板により、遠くまではつきりとした音を届ける。音の減衰が少

大陽ステンレススプリング



樹脂部品のインサート成形

社内樹脂部品インサート成形

大陽ステンレススプリング（東京都練馬区、種田郁夫社長）は、精密金具の製造業として国内外問わず各業界に製品展開している。自動車部品は採用実績が多数あり、特に樹脂穴の補強部品としてフォアミッシング加工で製造したインサートブッシュは切削加工品からのコストダウンを実現し、供給先からの評価も高い。フォーミシングで材料を巻いて加工するが合わせ目の密着加工にアセンプリー（組み立て）品も可能。得意の金属加工と樹脂の二刀流で自動車や情報通信業界などの最先端技術のニーズ拡大を目指す。

金属加工と樹脂の二刀流

精度が高く、樹脂成形時の樹脂漏れなどが少ないのが特徴だ。ハイブリッド車（HV）から電気自動車（EV）まで各メーカーに幅広く採用されている。軽量化ニーズの高まりに伴い、金属と樹脂の複合品の採用が増加している。そのニーズに対応するために社内樹脂部品のインサート成形も実現し、すべてのパーツを自社製品で賄える。金属との同時成形以外にアセンプリー（組み立て）品も可能。得意の金属加工と樹脂の二刀流で自動車や情報通信業界などの最先端技術のニーズ拡大を目指す。

英弘精機



超小型・高感度センサー「HF-01S」

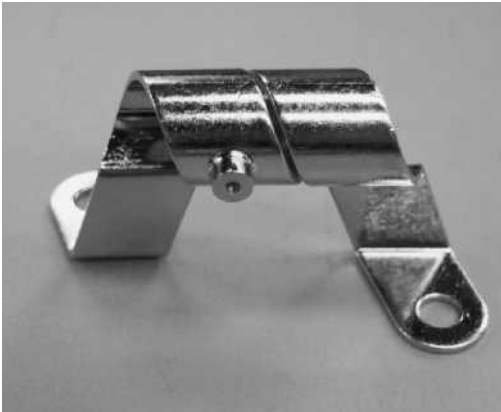
熱流計に新ラインアップ

英弘精機（東京都渋谷区、長谷川寿一社長）は、98年の歴史を持ち、気象観測、再生可能エネルギー、物性分析分野での製品とサービスで、世界の科学技術の進歩に貢献してきた。同社は50年以上にわたって製造する熱流計に「HF-01S」が新たなラインアップされた。約25mm角と小型ながら、標準感度55W/m²（W/m²）以上の高い感度を有し、微弱な熱の流れや、生産設備の予兆保全から最先端の製品開発まで、熱の問題を見える化する。同社は、精密な熱データの新たな判断基準を提供すること、顧客の技術革新と産業界の発展に貢献していく。

微弱な熱の流れ 高感度検知

狭いスペースの熱流評価が可能。これまでの熱流計は主に建物の断熱材の性能評価などに使われてきたが、応用範囲は大きく広がる。例えば、工場の生産設備に設置し、異常な熱の流れを監視して故障の予兆を検知する。また熱マネジメントが重要な電子基板やバッテリーの設計で、部品ごとの熱挙動を実測。排熱設計を最適化し製品の高性能化と長寿命化を実現。生産設備の予兆保全から最先端の製品開発まで、熱の問題を見える化する。同社は、精密な熱データの新たな判断基準を提供すること、顧客の技術革新と産業界の発展に貢献していく。

ナカザ



表面処理後の2回巻きプレス部品

プレス加工のみで2回巻き

ナカザ（東京都足立区、中座義行社長）は、の作製のほか巻き後、形プレス加工のみで2回巻きの加工を施した部品を要望に対応し新規の部品を製作した。加工の際に2回巻きの隙間を均等に保つことが難しいが自社製の金型を用い、6工程のプレス加工での作製を可能にした。作製したのは避震器関連の部品で、製造コストはプレス以外の工程が必要な従来の作製法に比べて約5分の1になる。今回、素材には銅

部品製造コスト5分の1

を用いたが、他の素材での作製のほか巻き後、形プレス加工のみで2回巻きの加工を施した部品を要望に対応し新規の部品を製作した。加工の際に2回巻きの隙間を均等に保つことが難しいが自社製の金型を用い、6工程のプレス加工での作製を可能にした。作製したのは避震器関連の部品で、製造コストはプレス以外の工程が必要な従来の作製法に比べて約5分の1になる。今回、素材には銅

AIとクラウドのことなら、サテライトオフィス

企業活用ChatGPT導入支援

無償導入キャンペーン

OpenAI GPT 対応済

Azure OpenAI Service 済

Google社 Gemini 対応

Google社 VertexAI 対応

Claude3 対応

議事録作成AI

AIドキュメント

社内ドキュメントRAG学習データ作成SDK

AIボード

社内チャットAI

テレビ会議(GoogleMeet, Teams, Zoom)で、音声文字起こし&議事録を作成

契約書、マニュアル、営業資料をアップロードし、ChatGPTに相談可能

社内の大量のドキュメントから文字抽出、文字データをベクトルデータ化

ChatGPTと同じインターフェイスで、企業利用のためのセキュリティを強化

Teams, Google Chat, LINE WORKS、Slack、ChatworkからChatGPTに質問

その他、AIソリューション色々ございます。ホームページを御覧ください！

サテライトオフィス Sateraito Office

TEL 050-5835-0396 (営業時間 10:00~17:30)

Mail contact-info@sateraito.co.jp

ChatGPTの導入支援はお任せください！ 株式会社サテライトオフィス

株式会社サテライトオフィス https://www.sateraito.jp

篠崎AI

